

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28 年 1 月 10 日			
所属学部・研究科	法学部/研究科 2 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	St. Mary's University (国名: カナダ)			
所属学部・学科等名	法学部			
在籍身分				
留学期間	平成 28 年 9 月 2 日～平成 28 年 12 月 17 日			
1. 渡航について				
ビザについて	<p>ビザの種類: 6カ月未満だったので申請していません。ビザはインターネットで申請もできます。</p> <p>ビザ申請先:</p> <p>取得方法, 提出書類:</p> <p>手続きに要した日数:</p>			
その他必要な事前手続き	ETA の登録 (ビザを取得しなかったため), ESTA の申請 (アメリカ経由だったため) 寮の申し込み, 授業履修登録			
出国年月日	平成 28 年 9 月 2 日			
経路	東京→ロサンゼルス→フィラデルフィア→ハリファックス			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 空港からの無料の送迎バスを申し込みました。) <input type="checkbox"/>無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月1日からウェルカムウィークが始まります。寮の入居日は9月3日からなのですがウェルカムウィークに参加申し込みしておくとも早めの入寮が可能です。毎日様々なイベントが開かれ、ネイティブ含めたくさんの人と知り合う絶好の機会なので参加をお勧めします。			
帰国年月日	平成 28 年 12 月 17 日			
経路	ハリファックス→フィラデルフィア→ダラス→東京			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	106 万	円	
	内訳	渡航費	300,000	円
		保険料	90,000	円
		教科書代(学費)	20,000	円
		宿舍費	300,000	円
		食費	200,000	円
		その他 (旅行, お土産 費) (日用品 費) (費)	120,000 30,000	円 円 円

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	日本に比べて病院に行った場合の費用は大変高いです。大学の中にも保健センターみたいなものがあり、そこでも簡単な診察が受けられます。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	日本に比べてとくに気を付ける点はありませんが、人によっては水道水が合わないかもしれません。常備薬くらいは日本から持っていくことをお勧めします。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
比較的治安はよいと思いますが、夜は一人では出歩かないようにはしていました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
大学の近くには Sobeys や Super store などのスーパーマーケットがあり徒歩で行けます。アジア系の食材が手に入るようなお店やアジア料理のお店も歩いていける距離にあります。バスで 20 分くらいのところにはショッピングセンターやウォルマートがあり生活用品はそこで手に入ります。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 31 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 31 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
単位互換手続の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 留学先で取得単位数 (9) 単位 <input type="checkbox"/> 無 理由 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	2 年時の留学ということもあり、卒業予定は変わりません。渡航先の試験が早めに終わったので、第四タームから広大の授業に復帰することができました。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	卒業に影響しないよう留学時期、期間を選んだので、特にありません。ただし、留学先の単位が互換できるかは互換してみるまで分からなかったもので、単位を落とさないように計画的に履修していました。	
6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細 (出版社、URL 等)	コメント
地球の歩き方 カナダ		観光地や気温などの情報が詳しく載っています。
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
カナダの協定大学が、セントメリーズ大学一つだけということもあり、なかなかカナダの情報や大学の情報を人から聞くことができなかったため、インターネットやガイドブック、先輩たちのレポート等などで早めに下調べをしておくことをお勧めします。セントメリーズ大学は留学生を多く受け入れている大学なので、わからないことは現地のコーディネーターやスタッフに聞けば、ちゃんと対応してくれます。St. Mary's の学生や Halifax の人たちはとても気さくで優しい人が多いので、とても楽しく過ごせました。		
8. 留学先の大学情報 (有名な分野、大学の規模)		

セントメリーズ大学は、比較的小規模な大学です。経済が有名のようで、ビジネス・スクールは結構高い評価を受けているみたいです。留学生をたくさん受け入れており、カナダの中でも意図版といえるほど国際化された大学といえます。大学の建物は、ほとんどがつながっており、冬でも外に出ずに移動できます。カナダの冬は - 20度や30度になる日もあるほど寒いですが、12月までの留学だと本格的な冬が始まる直前くらいで変えることになるかもしれません。

(授業履修について)

1. 履修登録について

いつ頃履修登録をしましたか。(例：出願時(月頃)、出発直前(月頃)、派遣先大学到着後(月頃))

出発前に履修登録しました。4月の末頃から履修登録できます。小規模なクラスが多いので早めに履修登録をお勧めします。定員がいっぱいだったクラスでも、授業が始まった後に席が空いたりするのでどうしても受けたいならえっくがお勧めです。

希望の科目をどの程度履修できましたか。(例：すべて履修できた・いくつか変更させられた・ほとんど履修できなかった)

一つだけ履修できなかった科目がありました。

履修できなかった理由、変更が必要になった理由を述べてください。(例：3年生以上しか履修できない科目だった)

授業自体がキャンセルになった。

交換留学生に履修制限がある科目はありましたか。どのような制限ですか。履修に際して必要書類はありましたか。

基本的に一年生向けの授業は、履修が可能です。二年生向け以上の授業についても申請をし、その授業の履修要件を満たしていると認められれば、履修できます。

2. 履修科目について

履修科目数	合計 3 科目
-------	---------

履修科目 1

科目名	Isms and Beliefs
-----	------------------

時間数	1週間に 75 分の授業が合計 2 回
-----	---------------------

科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。

イデオロギーに関する授業で、内容は基本的に教科書に沿っています。予習の内容は、その日の範囲の教科書とそれに関連した記事などを読んでくるというものでした。時々ディスカッションがあり、様々なバックグラウンドを持った学生がいるので多様な意見を聞くことができました。授業中にも積極的に質問や意見が飛び交います。中テストが2回、レポート提出が1回、期末試験がありました。

履修科目 2

科目名	Contemporary Issues
時間数	1週間に 75 分の授業が合計 2 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
授業の内容は、主に政治活動や大衆運動、アメリカの政治についてでした。教科書はありませんでしたが、試験が4回あり、授業の内容と指定された本の中から出されました。パワーポイントや板書をあまり使わないタイプの先生だったので、リスニング力が鍛えられました。	
履修科目 3	
科目名	Education and International Development
時間数	1週間に 150 分の授業が合計 1 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
教科書はなく、パワーポイントに沿って授業が進んでいきました。大学院生も履修している授業だったので授業はいつもインタラクティブでした。レポートやエッセイの提出が3回ほどあり、中間、期末試験、簡単なプレゼンテーションもありました。試験やレポートなど、様々な面から学生を評価しようとする先生の姿勢が感じられました。	
履修科目 4	
科目名	
時間数	1週間に 分の授業が合計 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
履修科目 5	
科目名	
時間数	1週間に 分の授業が合計 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	

学習の概要に関するレポート

履修登録は、私の場合4月の末頃からできました。すぐに定員が埋まるので、大学のホームページでどんな授業があるのか見て、先に決めてから、履修登録することをお勧めします。ホームページで見ることができるのは、授業の簡単な内容の説明と時間、教員の名前などだけで、具体的には実際の授業を受けてみないとわからないことも多いので、初めにたくさん授業の履修登録をしておいて、最初の授業に出てみたら決めたほうがとよいと思います。シラバスも最初の授業で配られ、そこに今後の課題の予定や評価の仕方が書いてあります。定員がいっぱいだった授業でも授業が始まってから見てみると席が空くこともあるのでチェックしてみてください。履修登録期間は、授業が始まってから一週間程で終わりますが、そのあとも授業の履修をやめることは11月くらいまで可能なので、多めに授業をとりすぎて、どうしても無理そうであればドロップアウトも可能です。

授業については、基本的に一つの授業が週二回ずつあり、月、水曜日と火、木曜日がセットになっていて、多くの学生は金曜日の授業がありません。私は、政治系の授業を2つと国際開発の授業を履修しました。最大5つまで授業を受けることができますが、課題やテストが多いのと、履修した授業の内容が抽象的で難しかったため3つに集中することにしました。HUSAプログラムでは、派遣先の大学の授業をその学生と同じように受けることができます。授業の予習や試験のためのリーディングも多いですが、その分内容も頭に入るし、英語を使う機会も増えます。試験も私の受けた授業は全部記述式で、ライティングが一番苦手だったので苦労しましたが、電子辞書の持ち込みを許可してもらうなどして何とか乗り切りました。

レポートなどの課題では、ライティングセンターをよく利用していました。利用の仕方は二つあり、予約をして利用する方法と、**drop in hour**にライティングセンターや図書館近くの部屋に行く方法があります。レポートの構成を考えたり、文法や表現のチェックをしたりなどどんな段階でも手伝ってくれるので課題で困ったらすぐに利用していました。また、**ESL**という英語を母国語としない学生のための教室がありそこでもレポートの相談ができます。レポート以外でも英語で困ったことや課題点があれば、個別に指導してくれるので、授業の空き時間が多かったので、利用するようにしていました。**ESL**に行く際は、どのような練習をしたいのかはっきりさせていく方がいいかもしれません。

英語を勉強することは日本にいてもできますが、HUSAプログラムの良さは英語で勉強できることだと

思います。実際に自分の学んでいる言語が話されている環境に身を置いて、その言語を使いながら学んでいくという経験は日本にはなかなかできません。点数などで客観的に評価できない分、どう勉強していけばいいかわからず戸惑うこともあると思いますが、周りの人と関わったり、トラブルに対処したりする中で自然と伸びていくと思います。



生活の概要に関するレポート

ハリファックスは、ノヴァスコシア州の州都ですが小さな街です。ロブスターやカキが有名です。またタイタニック号が沈没した海域は Halifax の近海であるため、犠牲者のお墓や博物館には小規模ではありますが展示があります。

大学からバスで20分くらいのとショッピングモールやウォルマートがあり、寝具など最初の生活必需品はそこで買いました。Halifax のダウンタウンは、バスで、15分くらいで直接行ける距離にあり、友達と外食するときは大体ダウンタウンに行っていました。毎週 Wing Night という fried chicken が半額になるイベントを開催している Bar があるのでよくそこに行っていました。

ダウンタウンや Halifax のスーパーマーケットへは徒歩でも15分から20分くらいで行けるので、友達と歩いていくことも多かったです。学生証を申請するときにバスパスも申し込んだのですが、実際にはあまり使わなかったです。

隣のダートマスには Mic Mack Mall があります。ミックマックモールは大きなショッピングモールで Forever21 などが入っていますが、バスなどを使っていくと一時間くらいかかります。

カナダの冬は -20 度を下回ることもあり、大変寒いです。冬を過ごすのであれば、ブーツやコートなどは現地で購入したほうがいいかもしれません。9月から12月までの留学であれば、本格的な冬の前に帰国できる可能性もあります。私は、最高気温が-1度くらいで雪もまだそれほど降っていない時期に帰国したため、ウィンターブーツを買いませんでした。部屋の中はセントラルヒーティングで冬場も半袖の人もいほど暖かいので、半袖や薄手の服も必要です。カナダの服はあまり安くはありませんが、ブラックフライデーなどの大きなセールでは50%以上安くなることも珍しくありません。また、私は Value Village という古着屋さんで、状態のいい服を探して買って、帰りにドネーションボックスに寄付して帰りました。

留学中は、大学の寮に住んでいました。寮は、Loyola, Vanier, Rice の3つがあり、Rice と Loyola のシニアアパートメントにはキッチンがついています。それ以外はミールプランの購入をしなければなりません。寮と教室棟はつながっているため、外に出ずに移動することもできます。シングルルーム、ダブルルームから選べますが、トイレとバスルームはどこに住んでも何人かで共用になります。Loyola の場合は、5人くらいで共用になるのですが、男女住めるフロアだと男女関係なく共同使用することになります。一応、男性、女性専用のフロアもあるので気になる人は、申請の時に自分の希望を聞かれるので、男性専用、女

性専用フロア希望, というのを言っておけば希望を聞いてもらえます。

私は, Loyola のシングルルームに住み, ミールプランを頼んでいました。シングルルームにしたのは自分ひとりの時間があつたほうが良いと思ったからです。ダブルルームに住めば, 日本人以外と住むことになるので英語の練習にはなるとは思いますが, ダブルルームに住んでいた人たちの中には, ルームメイトとあまり相性が合わなかったり, 部屋を変更してもらったりしていた人たちもいました。もちろんルームメイトと仲良くなって遊びに出かけたり, 休暇にルームメイトの家に遊びに行ったりしている人もいました。

食事についてですが, 寮のダイニングホールはバイキング形式ですがあまり美味しいとは言えませんでした。ミールプランで週 14 回以上のプランを頼むと, 大学内のカフェなどで使えるお金が \$ 200 チャージされるので, よく Tim Hortons などを利用していました。私は, 毎日 3 回行けるプランを頼んでいたのですが, 友達と外食したり, 朝を食べなかったりすることも多く, \$ 200 の範囲内ならカフェなども利用できるので週 14 回のプランで十分だったと感じました。外食をするとどこに行っても大抵一回で \$ 10 以上になり, 高いです。

St. Mary's 大学は, 留学生をたくさん受け入れているので, カナダ人だけでなく, たくさんの国からの留学生とも知り合える点が魅力的でした。日本人については, 付属の語学学校にはたくさんいますが, 大学の正規の授業に通っている日本人はそこまで多くなかった印象です。初めは, 知らない人ばかりで戸惑うこともあると思いますが, ウェルカムウィークのイベントに積極的に参加するなどして知り合いをたくさん作っていくといいと思います。ウェルカムウィーク以外にも大学内でイベントやパーティなどをたくさんやっています。私自身もイベントを通してフロアメイトと仲良くなり, 多くの知り合いを作ることができました。

